



パトロールニュース

日本スキーパトロール協議会情報誌

P1

2024 SAJ 公認スキーパトロール検定会



P2

合格記
青森県 63 期
大川 元樹

第 87 号



P3-6

検定会の風景



P7-9

第 2 回 ウィンターリゾートの裏側見学会



P10-16

第 24 回 FIPS(国際スキーパトロール連盟) 総会報告



P17-19

我らの仲間
「山形県 米沢スキー場パトロール隊」



P20

事務局より
・新終身会員・寄付者
名簿・ほか

P21-22

第 53 回 JSPA 総会のお知らせ



P23

事務局より
・新入会員勧誘の
御案内

発行
発行日
発行責任者
総務担当

日本スキーパトロール協議会
2024年7月15日
遠藤 正
〒063-0001 北海道札幌市西区山の手1条6丁目3-6
富樫 美昭 TEL080-2014-3339 FAX011-621-1328
石川 由紀子 TEL090-2479-1812
<https://jspa-net.jp/> Eメール info_ski@jspa-net.jp

日本スキーパトロール協議会

ホームページは、
右のQRコードから
またはJSPAで検索



JSPA

検索

2024 SAJ 公認スキーパトロール検定会

2024年3月2日(土)～3月3日(日)青森県・大鰐温泉スキー場において、(公財)全日本スキー連盟公認スキーパトロール検定会が開催されました。

今回は1会場での開催となりましたが、例年に比べ雪が少なく、会場準備などスタッフの皆さんは大変ご苦労なされたようです。ありがとうございました。

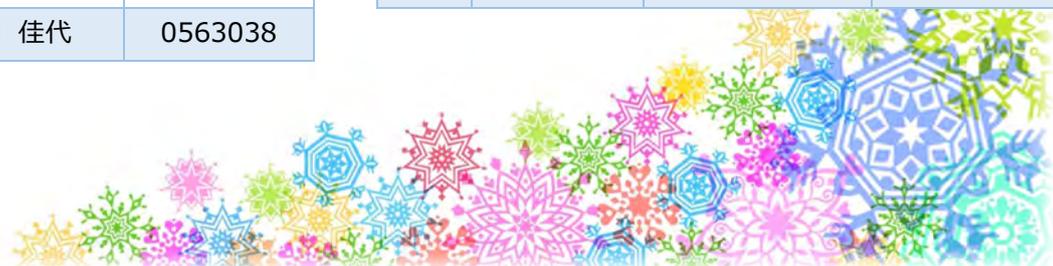
初日は雪上種目の検定でした。午前中の基礎種目は天気も良く検定はスムーズに進みましたが、午後からは雪が降り、見通しの悪い中での搬送種目の検定となりました。翌日は、不二やホテルで理論テストが行われました。

今回の検定は、55名の受検者申込があり、合格者が29名という結果で例年になく狭き門となりました。新たにSAJ公認スキーパトロールとなりました合格者のうち、15名の方がJSPAに入会し、私たちの仲間になりました。

JSPAの先輩会員の皆様、どうぞ新しい仲間に必要な祝福と今後のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

会員	県連	氏名	会員番号
	北海道	安藤 翔平	0163050
○	青森県	森川 真利子	0263025
○	青森県	宮本 大輔	0263030
○	青森県	小野 詠右	0263031
○	青森県	大川 元樹	0263042
○	青森県	岩井 伸樹	0263049
○	青森県	小野 光大	0263052
	岩手県	小野 真由美	0363032
	岩手県	多田 敏彦	0363033
	岩手県	名原 智子	0363043
	岩手県	佐々木 大貴	0363046
○	宮城県	成田 孝行	0463018
○	宮城県	廣島 茜音	0463055
○	秋田県	佐藤 慎吾	0563022
○	秋田県	池田 佳代	0563038

会員	県連	氏名	会員番号
	秋田県	藤原 茂樹	0563041
	福島県	遠藤 諭	0763005
	福島県	八木沼 俊	0763012
○	埼玉県	佐藤 智美	1163045
	東京都	浅見 紀明	1363015
	東京都	小玉 順子	1363020
○	東京都	南波 祐介	1363021
	東京都	和田 吉広	1363024
○	神奈川県	野崎 誉純	1463017
○	神奈川県	西田 悠一郎	1463037
	長野県	矢島 優己	1663048
○	長野県	吉田 凌太郎	1663054
○	新潟県	川島 絢	1763040
	徳島県	池崎 裕介	3763053



合格記



青森県 63期 大川 元樹



私は、今回検定会場となった大鰐町で春から秋にかけては、農家としてりんご栽培をしています。真冬の時期は、いったん畑作業も落ち着くので、冬季期間は大鰐温泉スキー場スタッフとして働いています。

最初はリフトスタッフとして働き始めました。スキー経験は多くない方でしたが、監視小屋からゲレンデを眺めていると、上級者の滑りは格好よく映り、自分もスキーが上手になりたいと思い、スキーを履く頻度が増えていきました。リフトスタッフとして数年経った頃、パトロール隊に所属しないかと誘われ、これはチャンスと思い迷わず入隊しました。



入隊当初は、スキー技術も低かったので巡回しながらできるだけスキーを滑ろうと思い頻りにゲレンデに出るようにしていました。

ある時、巡回中に傷病者を発見したことがあったのですが、救護バックを持っていても応急処置の仕方もわからず、アキヤボード使用の判断もできず、現場で先輩を待つだけでした。そのもどかしく、悔しい経験から、パトロール業務に必要なしっかりとした技術を

学びたいと思い公認スキーパトロール検定合格を目指し努力してきました。

今回、地元が会場に選ばれたこともあり、受検を決断し、夏場から救急法の講習など準備をしてきましたが、今年は冬になっても記録的な暖冬・小雪により雪が積もらず、それに伴い大鰐温泉スキー場の営業開始が大幅に遅れ、ゲレンデへの雪付けなど整備作業が多くスキーを滑り込む時間が少なく不安でした。

あっという間に検定日当日を迎え、地元開催で失敗できないプレッシャーもあり緊張しましたが、一種目目の横滑り時にできることをしっかりやろうと思い臨んだところ、スムーズに滑れたと感じ、気が楽になり他の種目も若干の体の硬さは感じましたが、練習の成果を出せたと思います。普段から意識して滑ることの大切さを知った気がします。

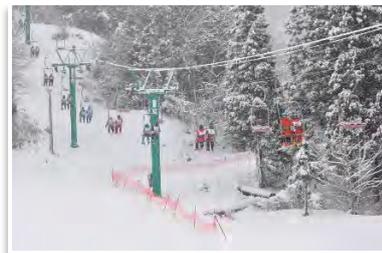


今回受検にあたってお忙しい中、講習会を開いてくださった専門委員・技術員の皆さま、大鰐の先輩方、ご指導くださりありがとうございました。また大鰐温泉スキー場様、雪不足の中会場をご用意してくださり感謝しております。

これからは有資格者として、自覚と責任感を持ち更なる技術・知識の向上を目指し、お客様がスノースポーツを安心安全に楽しめるようパトロール業務に携わって参りたいと思います。

検定会の風景









第2回 ウィンターリゾートの裏側見学会

～もっと知りたい！第2回ウィンターリゾートの裏側見学会（バックヤードツアー）～

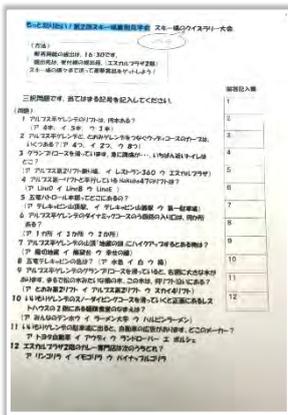
2024年3月23日（土）～24日（日） エイブル白馬五竜

愛知県スキー連盟安全対策部

スキー場のことをもっと知ってほしいという思いから始まったウィンターリゾートのバックヤードツアーは、第2回目の開催となり、スキー場で安全管理の一線で活躍するスキーパトロールの活動だけでなく、きれいなゲレンデ作りの最先端で活躍する圧雪チームとの関わりや降雪チームとの関わりを盛り込んだ内容を詳しく解説いただきました。さらに始業点検に同行させていただき、解説を聞きながら実際の目で見ることにより危険度を実感し、安全面の確保の実態を知る機会となりました。参加者は、多くが昨年のリピーターでしたが、東京から中学生の単独参加もありました。また現場で活躍するパトロールの参加もありました。



会場である白馬五竜エスカルプラザ玄関に歓迎の文字とイベントタイトル
今回も会場スタッフによるうれしい計らいがありました！



手始めにゲレンデクイズラリー開催

夕方からの講義や翌日のゲレンデツアーの予習を兼ねてかなりマニアックな問題がずらり・・・

参加者は、激しい降雪のなか、ゲレンデの隅々までめぐり、クイズの回答を求めコース脇で穴を掘り出したり、現場のパトロールに質問したりと苦戦していたようでした。

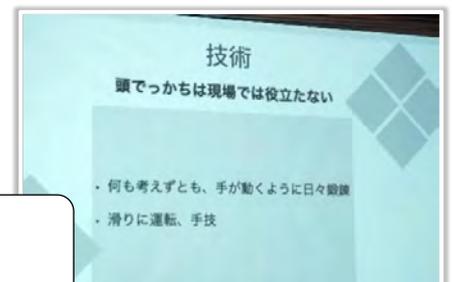
全問正解者にはスキー場から豪華景品がプレゼントされました。



エイブル白馬五竜10代目隊長の講義は、とてもわかりやすく好評でした。特に、来年度パトロール検定を目指す人は、食いつくように聴講していました。

スキーパトロールに求められる資質は、知力、体力、技術、話術で、特に技術面では、頭でっかちは現場で役立たずであることを強調されました。きれいなゲレンデ作り

に欠かせない圧雪チームとの関わりについての内容では、実際にナイター始業前の圧雪の状況を見ながらの解説。「百聞は一見にしかず」というだけあり、目で見ることで理解が深まりました。

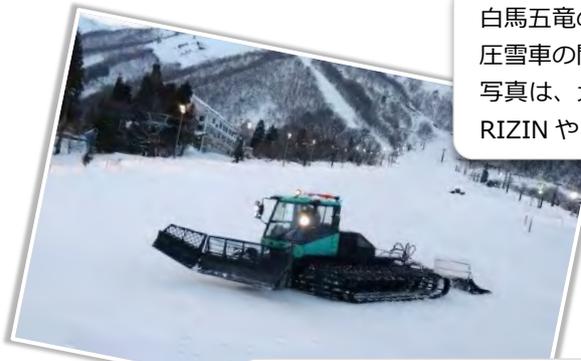


鈴木猛志（すずき たけし）

白馬五竜スキー場パトロール10代目隊長
公認パトロール53期・雪崩業務従事者レベル1



圧雪された雪面を示し、ゲレンデの整備具合を説明する隊長



圧雪中にお客様が入り込まないようにパトロールが立っている。

白馬五竜の圧雪オペレーターの腕前は、圧雪車の開発に携わるほど。写真は、大原鉄工所の DF シリーズ 他に RIZIN や FUZIN も配備している。



二日目のゲレンデツアーは、晴天に恵まれました！

7：30 一般のお客様が乗り込む前のテレキャビンに乗車。



パトロール、リフト、レストラン従業員だけしか乗車できない朝一番のキャビン。わたしたちも専用通路から乗車口へ移動。



ウッディコースのネット張り。朝イチの大仕事です。(林イチとも呼ばれる。) コース脇の規制ロープとポールは、1本1本必ず触ります。



始業点検とは、ただコースを見るだけでなく、お客様を安全に誘導するための設置物を立て直したりする作業をリフトの始業時間に合わせて、より早く美しく作業を進めて行きます。

あわただしく各部署の準備が完了を知らせる無線が飛び交います。この日も予定通り8時15分にすべての作業が完了しました。

私たちの後ろから滑り降りて来たのは圧雪チームの責任者。安全管理のため圧雪の状態を自分で滑って確認しています。

9：30～12：00 ゲレンデツアー

朝イチに続き、ゲレンデツアーでは、自然豊かなスキー場の様々な部分を解説

していただきました。



テレキャビン山頂スキー場の境界を示す看板

登山者の入り口とバックカントリーの入り口がある。バックカントリーの出口は滝谷沢になっていることが多いので、バックカントリーを滑り降りるとどこに出るかをあらかじめ知っておくことが重要だということを学びました。



境界の目印



豊かな自然の中で、天気の良いときに見える景色は絶景



ゲレンデに珍しい常緑樹は目印になる。通称「松ノ木」



こんなところに！

圧雪車が急斜面を整地するとき使用するアンカー発見。



雪崩防止柵



自然発生の雪崩の跡

雪崩防止柵の上には、たくさんの雪が積もっている。スキー場を守るためではなく、村の集落を守るためのもの。コース脇に自然発生の雪崩の跡を発見この日は、珍しく営業時間中にテストスキーを行いました。

午後は、アキヤボートの乗車と搬送体験を行いました。一般の参加者は、めったに乗る機会がないアキヤボート。二度と乗るな！という気持ちを込めて優しく丁寧に搬送してあげました。

パトロール従事者以外でパトロール受検を考えている人は、このような機会を利用してみてください。

ー参加者の感想からー

- ・豪華すぎる週末でした！（一般男性）
- ・また次回は、友達と参加したい。ひとりでも来ます！（中学生）
- ・自分の勤務するスキー場で参考になることがたくさんありました。（パトロール勤務）
- ・次回の企画にワクワクします。（リピーター参加者）



愛知県スキー連盟安全対策部では、スノースポーツを楽しむ全ての人にスキー場のことをもっと知ってほしいと思い、このようなちょっとマニアックな企画を行っています。普段見ることができない裏側を楽しく学べる機会を作っていますので、今回参加できなかった人は、ぜひ次回の参加をお待ちしています！

ご協力いただいたスキー場の関係者のみなさまありがとうございました。

愛知県スキー連盟 安全対策部 一同

第 24 回 FIPS（国際スキーパトロール連盟）総会報告

公益財団法人全日本スキー連盟 理事・富樫泰一 安全対策部長・上杉一哲

FIPS とは：FIPS (FÉDÉRATION INTERNATIONALE DES PATROUILLES DE SKI, 国際スキーパトロール連盟) 総会は 2 年毎に世界各地で開催されます。第 1 回は 1979 年 (FIPS 創設年) にカナダ・カルガリー, 第 5 回は 1985 年に車山で開催され世界 10 カ国から 300 名の参加がありました。第 18 回は 2011 年ルスツリゾートで開催予定でしたが, 東日本大震災のため中止となりました (<https://snowsafety.info/>)。

第 24 回 FIPS 総会概要：2024/4/21 から 2024/4/28 の 8 日間にわたり, スウェーデンのリックスグランセン (Riksgransen) で, 世界 16 カ国 (オーストラリア(3), カナダ(24), チリ(11), フランス(2), ノルウェー(1), アイスランド(2), イタリア(6), 日本(2, 富樫泰一, 上杉一哲), 韓国(16), ルーマニア(5), スコットランド(4), セルビア(2), スウェーデン(10), スイス(1), イギリス(8), アメリカ(21), FIPS 組織委員会, ※括弧内は参加者数) から約 150 名のスキーパトロールが参加し, 雪上安全に関するトピックス (Medical/医学, Technology/技術, Avalanche/雪崩, Risk Management/リスクマネジメント, Disabilities/障害, FIS Liaison/FIS との連絡, Rescue Dogs/救助犬) の専門家や関係者による講演や研究発表・ワークショップがあり, 活発な情報交換が行われました。

前日, 2024/4/21

マリー(Marie Nordgren)会長の歓迎挨拶とラップランドの歴史紹介がありました。



マリー会長の歓迎挨拶/オープニングセレモニー

1 日目, 2024/4/22

オープニングセレモニー後, 始めに Dr. Peter Paal (オーストリアのザルツブルクを拠点とする麻酔科医兼集中治療医) が, 継続的な CPR が不可能で機械的胸部圧迫が利用できない技術的に困難な救助において CPR を実行するための概念について講演しました。次に Dr. Per-Olof Michel (元スウェーデン軍の精神科部長, ウプサラ大学スウェーデン国立災害精神医学センター所長, オスロ大学ノルウェー国立暴力・心的外傷ストレス研究センターの上級研究員) は, ストレス連続体モデル, ストレス応急処置 (SFA), 事後ミーティング (AAM) および非公式事後レビュー (AAR), 個人のストレス管理, バトルバダ

ィサポートプログラム、専門的な評価が必要な場合、プライマリケア PTSD スクリーニング DSM-5 (PC-PTSD-5) の場合について講演しました。午後はフリースキーとトボガンチェック (Toboggan: カナダのエスキモー民族であるイヌイットや、インディアン部族のクリー族が使う簡単な作りの橇 (そり) で、荷物の運搬・交通用具また雪上遊具としても用いられています。冬季オリンピックの正式競技となっているボブスレーやスケルトン競技の起源とも言われています。欧米のスキー場では傷病者の搬送器具として多く使われており、前牽でブレーキを備えています)。

3 人目は Dr. Anna Bågenholm (ボーゲンホルム博士) が 1999 年にスキー事故 (氷点下近くの川に長時間頭から部分的に浸かり、深部体温が 13.7 度からの蘇生) について発表しました。



Dr. Peter Paal の講演



Dr. Per-Olof Michel の講演



Dr. Anna Bågenholm の講演

2 日目, 2024/4/23

Dr. Peter Paal は、雪崩における単一および複数の埋没者のための技術的および医療的救助アルゴリズムである AvaLife の有用性について講演しました。

出典: AvaLife - 雪崩患者の救助と応急処置における生存の可能性を最適化するための、事故とワールドテストデータに裏付けられた新しい学際的アプローチ

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35564653/>

山岳安全活動における最良の実践方法に関する国際的な知識ベース <https://mountainsafety.info/ja/>
次に、Torbjörn Ohlén (元スウェーデン軍曹長・勤続 35 年、軍事山岳ガイド) が、PIEPS の Manuel Genswein, MS.i および Giang Tran GM から提供されている情報に基づいて、アナログトランシーバー (アナログ式ビーコン) を用いた複数埋没者の検索に関する講演を行いました。

その後、AvaLife を用いた埋没者の掘り出しと救助活動に関するワークショップを雪上で行いました。ここでは、V 字コンベアベルト・メソッドによる埋没者掘り出し、顔面位置の特定と気道確保、バイタルサインの確認、BLS の実施について、AvaLife に基づいた救助訓練を複数班で実施し、その後振り返りを行いました。午後からは、1. アナログモードビーコンを用いた、複数埋没者の検索訓練デモ、2. RECCO® ハンドヘルド検出器を用いた検索体験を行いました。

さらに理事会が開催され、次期会長にはマリー現会長が再任され、次期総会会場にはサンピーク/カナダ (<https://www.sunpeaksresort.com/>) が承認されました。



Torbjörn ohlén の講演



アナログモードビーコンを用いた、
複数埋没者の搜索



RECCO®
ハンドヘルド検出器を用いた搜索



AvaLife を用いた埋没者の
掘り出しと救助活動

3 日目, 2024/4/24

始めに Viktor Lugnet が機械式胸骨圧迫装置の紹介を行い、次に Marc-Antoine Despatis 氏が、頸椎カラー装着の有無によって、搬送中の頸椎動態に及ぼす影響について講演し、以下のように結論づけました。

1. アルペンスキーの状況では、経験豊富なパトロールが頸椎保持をする場合、搬送中の頸椎カラーの利点はない。 2. 頸椎カラーの使用により、救助までの時間が大幅に増加する。 3. 頸椎カラーを使用しない場合、先頭のパトロール隊員はログロールの開始時に細心の注意を払う必要があります。

その後、雪上に移動し3つの班に分かれて、数種類のシナリオに基づき、雪上での頸髄損傷者の救助シミュレーションを実施しグループ討論を行いました。

午後からは、機械式胸骨圧迫装置3製品について、搬送中のトボガン上で試用しました。使用感としては LUCAS3 が最も確実な胸骨圧迫ができていたように感じました。但し価格が270万円するので、一般のスキー場に配備することは難しいでしょう。



Marc-Antoine Despatis 氏の講演



雪上での頸髄損傷者の
救助シミュレーション

下記 3 製品について、搬送中のトボガン上で試用



LUCAS3 <https://www.lucas-cpr.com/jp/>



corpuls cpr <電動式心肺人工蘇生器>

<https://eiwa-sangyo.co.jp/pages/33/>



機械式胸部圧縮用
EASY PULSE
SCHILLER

<https://www.schiller.ch/en/products/easy-pulse-p49>

4 日目, 2024/4/25

ノルウェーのナルビク (<https://www.narvikjellet.no/>) スキーツアーを行い、現地スタッフによるスキー場やスキーパトロール活動の紹介がされました。標高 1000m の山から海にダイブするようなダイナミックなスキーは、日本では経験できないとても良い体験となりました。



ノルウェー海を望むテラス



マリー会長



筆者ら

5 日目, 2024/4/26

始めに、アメリカのパトロール隊員であるベケット氏は、パトロールの役割を担う女性の存在と、彼女がこの役割をどのように遂行するか、彼女が遭遇する困難、そして女性の存在がパトロールチームにもたらす利点について講演を行いました。

次に、フィスプス・ナツィオナーレ、フィレンツェ・ニコラの代表が、昨年ポンテ・ディ・レーニョ・トナーレで開催された第3回欧州会議について講演し、救助の技術的な部分に関するガイドラインの基礎が築かれたことを報告しました。

続いて、BASP のケイト・ハンターが進行役となって、雪上での救助犬のデモを行いました。

午後は、弁護士のエド・ガスマン（アメリカ）の講演に続き、ピステでのリスクマネジメントについて、グループ討論を行いました。



ベケット氏の講演



第3回欧州会議について講演



6 日目, 2024/4/27

始めに、SLAO の CEO、Magnus Noppa が、環境への仕事について話しました。

次に、Dr. DUKE-WHAN, CHUNG が、第4回ユースオリンピック冬季競技大会（2024/江原道、韓国）の医療体制に関する報告を行いました。

続いて、アンドリュウ・チョリンスキ（カナダ）は、障害のある子供たちと協力し、スキー場をよりアクセスしやすくする方法を発表しました。

第4回 FIPS スキーパトロールヨーロッパミーティングの案内がされ、詳細は下記の通りです。

期 日：2025/3/4~6, 場所：Sinaia/Romania/シナイア/ルーマニア

内 容：75%は専門家会議, 25%はスポーツとレクリエーション

特 徴：100% 新しい場所、温かい友情、地元の伝統、楽しい

2024/7/1 以降詳細情報を、FIPS 電子メールグループおよび www.salvamontromania.ro で発信予定

フランスからは、雪崩誘発管理のためのソフトダイナマイトの使用について発表がありました。



DUKE-WHAN, CHUNG 氏講演



アンドリュー・チョリンスキ氏講演



第4回 FIPS 欧州会議案内



雪崩誘発管理のための
ソフトダイナマイトの講演



Heating Vest の講演



午後から、アキヤボート搬送レース (Patroller sled challenge) が行われました。国際混合 10 チームがデュアルレース形式で、2 人の搬送者及び 2 人の患者役とスキー搬送者がコース途中で交代し、ゴール前に置かれたネットを巻き上げてゴールラインを通過する競技を行いました。スパゲティチーム (FISPS、アルゼンチン、カナダ) が優勝したかに見えましたが、ゴールラインを通過する際にあり得ないイレギュラーが発生したため、優勝はチリとスウェーデンからなるチームに与えられました。



アキヤボート搬送レース

最終日の夕食は、総会期間中素晴らしい食事を提供してくれたスタッフに、感謝の拍手が贈られました。また、テリー・エイブラムスの FIPS への偉大な貢献に対して Mark Labow 賞が贈られました。最後に FIPS 旗が、マリー会長から次期会議開催国のカナダに引き渡され、7 日間に渡った国際会議が閉幕しました。



ホテルスタッフ



テリー・エイブラムス氏表彰



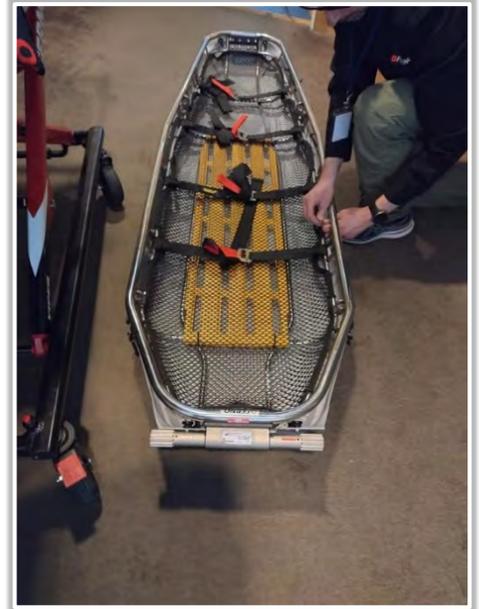
FIPS 旗引渡

講演会場のそばには、スキーパトロール活動に関係する各社展示場が設けられました。

Ferno Norden Sweden AB/ 救急用ストレッチャー <https://www.ferno.com/>

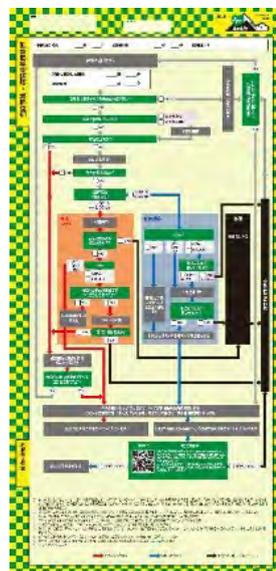
HARKEN 救助用品 <https://www.harken.com/safetyandrescue/en/home/>

TAIGA 耐久性と機能性に優れたワークウェア <https://taiga.se/sv>



・ AvaLife - 雪崩患者の救助と応急処置における生存の可能性を最適化するための、事故とフィールドテストデータに裏付けられた新しい学際的アプローチ <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35564653/>

・ 山岳安全活動における最良の実践方法に関する国際的な知識ベース <https://mountainsafety.info/ja/>



出典他

FIPS: Federation internationale des patrouilles de ski

FaceBook <https://www.facebook.com/FIPskiPatrol>

e-mail: president@fips-skipatrol.org

Web site: <https://www.fips-skipatrol.org/?lang=fr>

ICAR: International commission for Alpine Rescue/ 国際山岳救助委員会

<https://www.alpine-rescue.org/>

■ 我らの仲間

私たちのスキー場は、
「山形県 米沢スキー場」です！

米沢スキー場パトロール隊
隊長 伊藤 吉衛



茨城45期 石川が
取材に伺いました！



今回の「我らの仲間」は、茨城45期、石川が公認パトロール検定前からお世話になっている、山形県米沢スキー場を取材してきました。すでに20年以上お世話になっていることから、取材も脱線しがちでしたが、みなさんのお仕事の様子や、明るいパトロール隊員の人となり伝われば幸いです。



正面の中の平ゲレンデ

米沢スキー場は、コース数8本、リフト5本（うち2本は混雑時のみ併用）、最大斜度はダイナミックコースの32度、コース長も最長940mとコンパクトな、米沢市から近いファミリーゲレンデです。

コンパクトなゲレンデながら、コース幅は広く、各所に遊び心のあるテクニクコースがあり、林間コース内には宿泊やお食事ができるペンション村と、滑りごたえのあるレイアウトとなっています。

数年前までは、通常ナイターが夜9時まで営業しており、仕事終わりのサラリーマンスキーヤーや本格的なアルペンボーダーがトレーニングに通うゲレンデとして賑わっておりましたが、新型コロナの影響や極端な雪不足もあり、今年からはナイター営業を停止しています。



そういや、一時は、スキー下駄コースや、スキークロスコースとかゲレンデ内にいろいろあったけど、最近、リフト下のジャンプ台もありませんね～



雪がつかなくてももうずっと作ってないね。昨年までナイター営業をしていたけど、今年は営業していないんですよ。ナイター前に追加で圧雪するから、夜でも滑りやすいつて、お客さんにも評判でしょ？うちは圧雪が上手いのが自慢なんですよ。



駐車場のすぐ脇がパトロール室



確かに、安心して滑りやすいです。ダイナミックコースを直滑降で降りていく子供を見て、鳥肌たちましたよ。えらくやんちゃに滑っているお子様たちが、フリーで滑ってますよね。親御さんが、車で連れてきて「夕方迎えにくるからね。」って置いていくの見たことがあります。



入口にパトロール隊が待機



え？育児放棄ってこと？（笑）

どこを滑っていても必ずセンター前に戻ってこられるので迷子になりにくいし、知っている人も多いため、安心なのかも。たまに、「お願いしま〜す！」って声かけられることもありますよ。地元の人が多いしね（笑）

正面ゲレンデのキッズエリアとか、子どもたちが遊びやすい

ようにネットで仕切るなど、コース管理はしっかりやっていますよ。

それに、米沢スキー場のパトロール隊は、全員公認パトロール資格保持者のベテランです。安心でしょ？

最近、コロナの影響と暖冬の影響で、人も雪も少なくなりましたが、安全に滑れるようコース内整備と巡回はしっかり行っております。



確かに危険と思われる場所が少ないイメージだけど、それなりにけが人も出ますよね。どんなケガが多いですか。



巡回は常に状況を確認して



そこそこあるけど、やっぱりじん帯損傷が多いか

な。今年は、まだ数件ぐらいだけど。ここのスキー場は、市内からのファミリーが多く訪れてくるので、お子さんの転倒やサポートしている親御さんの、打撲や脱臼など軽傷のものが多

い。来場人数のわりには、けが人が少ないと思います。1000人に1人程度の受傷率かな？

もしかして軽傷だったら、市内の病院も近いので直接向かっているのかもしれないよね。

そういや、エッジでケガしたボーダーが、絆創膏もらいに来るから絆創膏だけ減りが早いかな（笑）

以前は、無理して飛ばすスキーヤーが転倒して大けがなんてことも多かったけど、最近はみんな上手になったのかなあ、大けがは少ないかもしれないですね。



転倒者には優しく声かけ



実は、私も米沢スキー場で転倒し膝をひねって、伊藤隊長にお世話になってことがあって…（笑）

膝をギュと包帯で巻かれて、しっかり帰り支度されたブーツを持たされて、「もう滑っちゃダメ、帰りなさい」と言われたことがあります。湿布を貼れば、このぐらいまだ滑れるかな？と思ってたけど、その厳しい感じに、スグスグ帰宅しました。



そりゃ滑っちゃダメよ。

福島県や茨城県からのお客さんも多いからね。遠くから時間かけて来るから、滑りたい気持ちもわかるけど、無理しちゃダメだよ。危ないからね。



ここは、国道に面しているゲレンデなので、車で来やすいと思うし、駐車場からゲレンデも違いなので、いいですね。私も、車の運転に自信がなくても、米沢スキー場なら1人でいけるって思って通ってました。休憩所も充実しているし、パトロール小屋も目の前で寄りやすい(笑)



スキー場のレイアウトが、センターハウスの入り口より、手前にパトロール室があるので、落とし物が届いたり、何か質問にきたりとケガ人じゃなくても気軽に立ち寄れるパト室は、ゲレンデのナンデモ屋みたいですね(笑)



常に室内からゲレンデを見て確認

米沢のパトロール隊は、自分の考えで自由に行動できる職場です。自分たちでアイデアを出し合いながら、いいゲレンデ作りを目指しています。ぜひ、遊びにきてください。



米沢のベゴは最高



過去の栄光??



雪灯籠まつりでパト室前は大賑わい



左から、伊藤吉衛隊長、黒田義一郎隊員、佐藤岳実隊員、佐藤健次隊員

事務局より（新終身会員・寄付者名簿・ほか）

新終身会員の紹介

2023年12月1日から
2024年5月31日までに
登録された方です。（敬称略、順不同）



寄付者受領名簿

日付	県連・期	氏名
2023.12.11	青森県 34期	新田 健三
2023.12.21	福島県 18期	宮城 俊郎
2023.12.21	東京都 12期	鶴巻 等
2023.12.26	石川県 25期	中田 啓治
2023.12.27	愛知県 20期	小椋 健司
2023.12.29	宮城県 Dr	千葉 正道
2024.01.04	三重県 Dr	堂本 洋一
2024.01.11	岩手県 25期	佐藤 公一
2024.01.25	北海道 55期	谷川 弘美

日付	県連・期	氏名
2024.02.01	愛知県 32期	成田 和親
2024.02.08	北海道 48期	木村 弘美
2024.02.29	東京都 36期	中澤 義昭
2024.04.12	愛知県 Dr.	井戸田 仁
2024.04.22	岐阜県 36期	竹内 進

2023年12月1日から2024年5月31日までに寄付
くださった方々です。
今後のJSPA活動に有効活用させていただきます。あり
がとうございました。（敬称略）

石川県能登義援金への御協力

義援金の詳細につきましては、次号での掲載とさせていただきます。ありがとうございました。

岩手県 24期 本宮 秀孝さま・岩手県 24期 遠藤 正さま・茨城県 45期 石川 由紀子さま
大阪府 60期 田中 祥浩さま・岩手県 25期 宮原 利雄さま・北海道 28期 富樫 美昭さま
JSPA 岩手県支部さま・群馬県 かたしな高原スキー場さま・埼玉県 38期 佐藤 俊寿さま
宮城県 えぼしスキー場さま・宮城県 19期 照井 敏勝さま・岩手県 24期 西舘 忍さま（順不同）

訃報

山本 行男さん（享年77歳）	岩手 14期	2023年12月 逝去
草薙 俊一さん（享年92歳）	秋田 4期	2024年1月21日 逝去
岡 武男さん（享年81歳）	山梨 12期	2024年4月11日 逝去
小原 良昭さん（享年82歳）	北海道 46期	2024年6月11日 逝去

謹んで御冥福をお祈り申しあげます。

第53回 JSPA 総会のお知らせ

大変お待たせいたしました。『第53回 JSPA 総会 in 長野県』の詳細が決まりましたので御連絡いたします。

蓼科の自然に囲まれた会員制リゾートホテルにて、日ごろの疲れをとり、ゆったりとした気分で極上のリゾートを味わいつくしましょう。皆さまのご参加、お待ちしております。

日時	2024年9月1日(日)~2日(月)
場所	長野県茅野市 会員制リゾートホテル エクシブ蓼科 〒391-0301 長野県茅野市蓼科高原北山 4035 ☎0266-71-8111 (代表)
参加費	宿泊大人1名… @21,000 (宿泊、懇親会、記念品、アトラクション等) ※1部屋2人のご利用の場合：+2,000円/人/1人のご利用の場合：+5000円 宿泊子供1名… @14,000円 (小学生以下) 日帰り1名… @12,000円 【オプション】 懇親会Ⅱ… @1,000円 (懇親会終了後 約90分自由参加) 2日目観光… @1,800円 (八ヶ岳ロープウェイ往復の乗車券代)

会員制リゾートホテル エクシブ蓼科



アクセス

●お車でお越しの場合

中央自動車道 諏訪 I.C からビーナライン経由 (約35分)

中央自動車道 諏訪南 I.C より八ヶ岳エコーライン、メルヘン街道経由 (約35分)

中部横断自動車道 佐久南 I.C から国道142号・県道40号経由 (約60分)

●公共機関をご利用の場合

【東京方面】新宿駅 → 茅野駅 (約2時間 JR中央本線特急利用)

【名古屋方面】名古屋駅 → 塩尻駅 → 茅野駅 (約2時間半 JR中央本線特急利用)

茅野駅 → ホテル (約35分 専用シャトルバス) *約1時間に1本

日 程		
9月1日 (日)	14:00 ~ 15:00 受付	【役員会】 10:00 ~ 12:00 理事会 13:00 ~ 14:30 地区幹事会
	15:00 ~ 16:00 総会	
	16:00 ~ 17:00 楽しいアトラクション	
	18:00 ~ 20:00 懇親会	
	20:00 ~ 21:30 懇親会Ⅱ	
9月2日 (月)	08:30~ 朝食各自	※行きのみホテルからロープウェイ乗り場までは、シャトルバスが出ます。 ※自家用車をお持ちの方は、お車で移動していただきます。 ※現地より茅野駅までは路線バスが出ておりますが、本数にお気を付けください。
	09:30~ 北八ヶ岳ロープウェイ山頂散策 ~12:00 現地解散予定	

北八ヶ岳ロープウェイ散策



お申込み方法

step1

同封のハガキにて、参加の可否と振込金額をお知らせください。宿泊予約の関係上、

8月19日(月) 消印有効までにご返答をお願いします。

step2

はがきに記入した振込額を確認し、

8月30日(金) までにお振込みの手続きをお願いします。

2024年9月1日開催の第53回総会に
御出席 御欠席
 どちらかに☑をお願ひします。
 ・御出席の方は、下記にお答え下さい。
 ・御欠席の方は、委任状に署名・捺印願ひます。

御出席の方 ☑をお願ひします。

交通手段	<input type="checkbox"/> 自家用 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他()
参加会議等	<input type="checkbox"/> 理事会 <input type="checkbox"/> 地区幹事会 <input type="checkbox"/> 総会 <input type="checkbox"/> 懇親会
宿泊の有無	<input type="checkbox"/> 宿泊(大人: 人, 子供: 人) (部屋・同室者の希望等:) <input type="checkbox"/> 宿泊なし
振込明細	宿泊 @21000 × 名 円
	@14000 × 名 円
	追加 @2000/人 @5000/人 名 円
	日帰り @12000 × 名 円 懇親会(2次会) @1000 × 名 円 観光 @1800 × 名 円
振込額合計 円	

2日目 北八ヶ岳ロープウェイ観光について
参加(人数と振込額を表に記入してください)
不参加(シャトルバス乗車希望(お片道のみ))

委任状(御欠席の方)
 2024年9月1日開催 第53回総会の議決事項について議長に委任いたします。
 2024年 月 日
 氏名 _____

郵便はがき
 長野局 承認 1766
 3910390
 長野県茅野市北山4035
 日本スキーパトロール協議会
 第53回総会事務局
 田村 一司 行

お振込先 諏訪信用金庫

支店名：北山支店
 口座番号：0097044
 名義人：安全対策委員会
 委員長 田村 一司

事務局より（新入会員勧誘の御案内）

公認パトロール検定会の合格発表のあと、JSPA担当者が入会手続きについて御案内しておりますが、当日入会できなかった方や、再度入会を希望されている方へ向けて、会員募集のチラシを作成しております。必要な方は、ご自宅まで送付いたしますので、事務局まで枚数をご一報ください。



お手持ちのスマートフォンなどで読み込んでください。

また、お近くに入会希望の方がいらっしゃいましたら、右のQRコードを読み込んでいただき、入会申込フォームに必要事項を入力し、「送信」後に表示される、「受付完了画面」までおすすみください。

入会手続き用の振込用紙を登録のご住所まで送付いたしますので、到着後、2週間以内にお振込みください。

【入会費用】 3,000 円

内訳 入会金1,000 円

年会費（2年分）2,000 円（1000 円/年）



※パトロールネームのご購入は、オンラインショップから、別途お申込みください。

受検会場と受検番号を入れてください。

受付完了画面を御提示ください。

必須事項を入力して進めてください。
[確認画面] ボタンをクリックし、画面の情報を確認してから [送信] を押してください。
送信後に表示される画面が「受付完了画面」です。

振込先情報

名義名： 日本スキーパトロール協議会
記号・番号： 00130-3-70754
ゆうちょ銀行(9900) 店番(019)
当座〇一九店(ゼロイチキユウ店) 口座番号:0070754

